

## 第667回: 習近平の哲学

もし、ドナルド・トランプのような傲岸不遜な米国の指導者が中国の習近平主席に書簡を送り、受け取った習主席が、“There are more things in heaven and earth, Chairman Xi Jing-Ping, than are dreamt of in your philosophy.”の個所を、「習近平主席よ、この世には、君の哲学などの思いも及ばないことがいくらでもあるのだ」と理解し、激怒したとすれば、彼の英語力は所詮はその程度だということだろう。

そもそも習さんが、哲学を持っているというコンテキストに、何ら疑問を差し挟まないこと自体が、そもそも可笑しいのだが。

勝手に隣国の大指導者を譬え話のネタに使ってしまい、大変申し訳ありませんでした。実は120年前ほど前に、日本の少年がうっかり誤訳、誤解してしまった大きな事件があったのです。

少年の名前は藤村操(1886~1903)。当時旧制一高で学んでいた彼は、明治36年5月、日光の華厳滝において、傍らの樹の皮をナイフかなにかで削ぎ落とし、そこに以下のような遺書＝「巖頭之感」を書き残し、滝に身を投げた。

悠々たる哉天壤、遼々たる哉古今、五尺の小軀を以て此大をはからむとす。  
ホレーショの哲學竟に何等のオーソリティーを價するものぞ。  
萬有の真相は唯だ一言にして悉す、曰く、「不可解」。  
我この恨を懷いて煩悶、終に死を決するに至る。  
既に巖頭に立つに及んで、胸中何等の不安あるなし。  
始めて知る、大なる悲觀は大なる樂觀に一致するを。

日露戦争が始まる約一年前の出来事であったが、彼の自殺は当時大きな社会問題として報道され、その死因(哲学上の煩悶、失恋等)も含め様々に論じられたが、その中で、誰がどこを、どう調べても出てこないのが、ホレーショというナゾの哲学者の存在であった。

当時藤村操が知っていた可能性があるホレーショなる人物は、トラファルガーの英雄ホレーショ・ネルソン提督か、そうでなければ、シェークスピアの戯曲「ハムレット」に登場するハムレット王子の学友のホレーショ(ウィッテンバーグの大学生)しかいないはず。でもネルソン提督は軍人だし、ハムレットの友人のホレーショは若者であって、老成した哲学者ではない。

結論から云えば、藤村少年は英語の教材としてシェークスピアのハムレットを読んだようだ。戯曲の中で、死んだ国王の亡霊を城壁で見かけ、腰を抜かすほど驚いているホレーショに対し、ハムレットが吐くセリフがこれだ。“There are more things in heaven and earth, Horatio, than are dreamt of in your philosophy.”

ここで問題となるのが、philosophy の前に置かれる“your”の意味。「あなたの」と云う一般的な語義は、誰でも知っているが、それとは別に、「(しばしば興味・非難・軽蔑などの意を含め)誰もが知る、例の、あの」という意味があるのである。

だからハムレットのセリフを厳密に日本語訳しようとするれば、「なあ、ホレーショ、この天と地の間には哲学なんぞの及びもつかぬことが山ほどあるのさ」とする必要がある。

碩学福田恒存先生は、流石に「ホレイショ、この天地のあいだには、人智の思いも及ばぬことが幾らも

---

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

あるのだ」と翻訳されており、小田島雄志先生も同じ趣旨の別の表現で訳されている。

これを藤村少年は、「君(ホレーショ)の哲学では予想もできないことが多々ある」と誤解してしまい、そこに「ホレーショの哲学」が誕生してしまった。

彼の自殺は、一高で彼のクラスの英語を担当していた夏目金之助(漱石)教授や学生たちに大きな影響を与えたようで、漱石が「吾輩が人称代名詞の your を、しっかり教えなかったのが間違いだった」と後悔したかどうかは知らないが、藤村操が、そのやる気のない態度を夏目教授に叱責された数日後に入水したのは事実であり、この事件を契機に漱石が宿病の神経症に苦しむようになったという説もあるようだ。

日本で現在用いられている「哲学」が、philosophy の訳語であることは言うまでもないことだが、これは、江戸時代末期から明治時代初期にかけて活躍した啓蒙思想家・西周・男爵(にし・あまね 1829~97)の造語である。津和野に生まれ、大阪や江戸で蘭学を学んだ西周は、後に幕府の命でオランダに留学し、ライデン大学で法学・経済学・統計学などを修めたのち、帰国して福沢諭吉らと共に、文明開化の世の啓蒙的役割を果たした。彼の最大の功績は、夥しい欧米の学術用語の翻訳だといわれている。

西男爵は欧米の知識やテクノロジーを、日本の漢字に置き換え、「形而上学」、「真理」、「藝術」、「理性」、「科学」、「知識」、「定義」、「概念」、「命題」、「権利」、「帰納法」、「演繹法」など数多くの和製漢字を作った。

尚、「自由」、「経済」、「競争」、「鉄道」は福沢諭吉のつくった和製漢字だとか。

もちろん中国にも、腹、尻、酒、女、花鳥風月、臥薪嘗胆など生粋の中国語は多いが、西欧発祥の近代的学問に由来する中国語の70%以上は日本から輸入した言葉と考えて間違いはない。

「哲学」もその一つである。明治初期の日本において、philosophy の訳語は、先人の蘭学者が翻訳した「理学」が主流であったが、西周は中国の儒学者・周敦頤の著者「通書」の中の、「聖希天・賢希聖・士希賢」からヒントを得て、新語を編み出した。

「士は賢を希う(こいねがう)」から、philosophy を「賢者となることを希求する学問」と定義して、「希賢学」と名付け、その後「希哲学」と微修正し、最後に「希」を省略して「哲学」としたようだ。

「聖希天・賢希聖・士希賢」と聞いて、ピンときたのが改革開放の父・鄧小平の名だ。彼の本名は鄧先聖、後に鄧希賢と名乗り、革命に身を投じてからは鄧小平と改名したが、彼の父親が周敦頤の「通書」から命名したのは間違いなことだろう。

先聖も希賢も、大変教養のある名前だが、封建時代の匂いを感じた鄧小平が、共産党幹部の名前としては相応しくないと警戒し、労働者階級の敵である黒五類(地主、富農、反革命分子、破壊分子、右派)出身だと誤解されないよう、幼名を捨てたようだ。(了)

文中の見解は全て筆者の個人的意見である。

2021年(令和3年)10月4日

## 筆者プロフィール

杉野光男

東洋証券株式会社 主席エコノミスト

一橋大学商学部卒、三菱信託銀行(現三菱UFJ信託銀行)入社、上海華東師範大学へ留学

同行北京駐在員、上海駐在員事務所長、理事中国担当部長を経て、2007年より現職

著書 日本の常識は中国の非常識(時事通信社)、中国ビジネス笑劇場(光文社)等

---

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

2/3



東洋証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第121号

日本証券業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会 加入  
本社所在地 〒104-8678 東京都中央区八丁堀 4-7-1 TEL03-5117-1040

## ご投資にあたっての注意事項

### 外国証券等について

・外国証券等は、日本国内の取引所に上場されている銘柄や日本国内で募集または売出しがあった銘柄等の場合を除き、日本国の金融商品取引法に基づく企業内容等の開示が行われておりません。

### 手数料等およびリスクについて

#### ①国内株式等の手数料等およびリスクについて

・国内株式等の売買取引には、約定代金に対して最大 1.2650% (税込み) の手数料をいただきます。約定代金の 1.2650% (税込み) に相当する額が 3,300 円 (税込み) に満たない場合は 3,300 円 (税込み)、売却約定代金が 3,300 円未満の場合は別途、当社が定めた方法により算出した金額をお支払いいただきます。国内株式等を募集、売出し等により取得いただく場合には、購入対価のみをお支払いいただきます。国内株式等は、株価の変動により、元本の損失が生じるおそれがあります。

#### ②外国株式等の手数料等およびリスクについて

・委託取引については、売買金額(現地における約定代金に現地委託手数料と税金等を買いの場合には加え、売りの場合には差し引いた額)に対して最大 1.1000% (税込み) の国内取次ぎ手数料をいただきます。外国の金融商品市場等における現地手数料や税金等は、その時々々の市場状況、現地情勢等に応じて決定されますので、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。

・国内店頭取引については、お客さまに提示する売り・買い店頭取引価格は、直近の外国金融商品市場等における取引価格等を基準に合理的かつ適正な方法で基準価格を算出し、基準価格と売り・買い店頭取引価格との差がそれぞれ原則として 2.50% となるように設定したものです。

・外国株式等は、株価の変動および為替相場の変動等により、元本の損失が生じるおそれがあります。

#### ③債券の手数料等およびリスクについて

・非上場債券を募集・売出し等により取得いただく場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、元本の損失を生じるおそれがあります。外国債券は、金利水準の変動等により価格が上下するほか、カントリーリスクおよび為替相場の変動等により元本の損失が生じるおそれがあります。また、倒産等、発行会社の財務状態の悪化により元本の損失を生じるおそれがあります。

#### ④投資信託の手数料等およびリスクについて

・投資信託のお取引にあたっては、申込(一部の投資信託は換金)手数料をいただきます。投資信託の保有期間中に間接的に信託報酬をご負担いただきます。また、換金時に信託財産留保金を直接ご負担いただく場合があります。投資信託は、個別の投資信託ごとに、ご負担いただく手数料等の費用やリスクの内容や性質が異なるため、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。

・投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とするため、当該金融商品市場における取引価格の変動や為替の変動等により基準価額が変動し、元本の損失が生じるおそれがあります。

#### ⑤株価指数先物・株価指数オプション取引の手数料等およびリスクについて

・株価指数先物取引には、約定代金に対し最大 0.0880% (税込み) の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。

・株価指数オプション取引には、約定代金、または権利行使で発生する金額に対し最大 4.400% (税込み) の手数料をいただきます。約定代金の 4.400% (税込み) に相当する額が 2,750 円 (税込み) に満たない場合は 2,750 円 (税込み) の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。

・株価指数先物・株価指数オプション取引は、対象とする株価指数の変動により、委託証拠金の額を上回る損失が生じるおそれがあります。

### ご投資にあたっての留意点

取引や商品ごとに手数料等およびリスクが異なりますので、当該商品等の契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、目論見書、等をご覧ください。

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。